

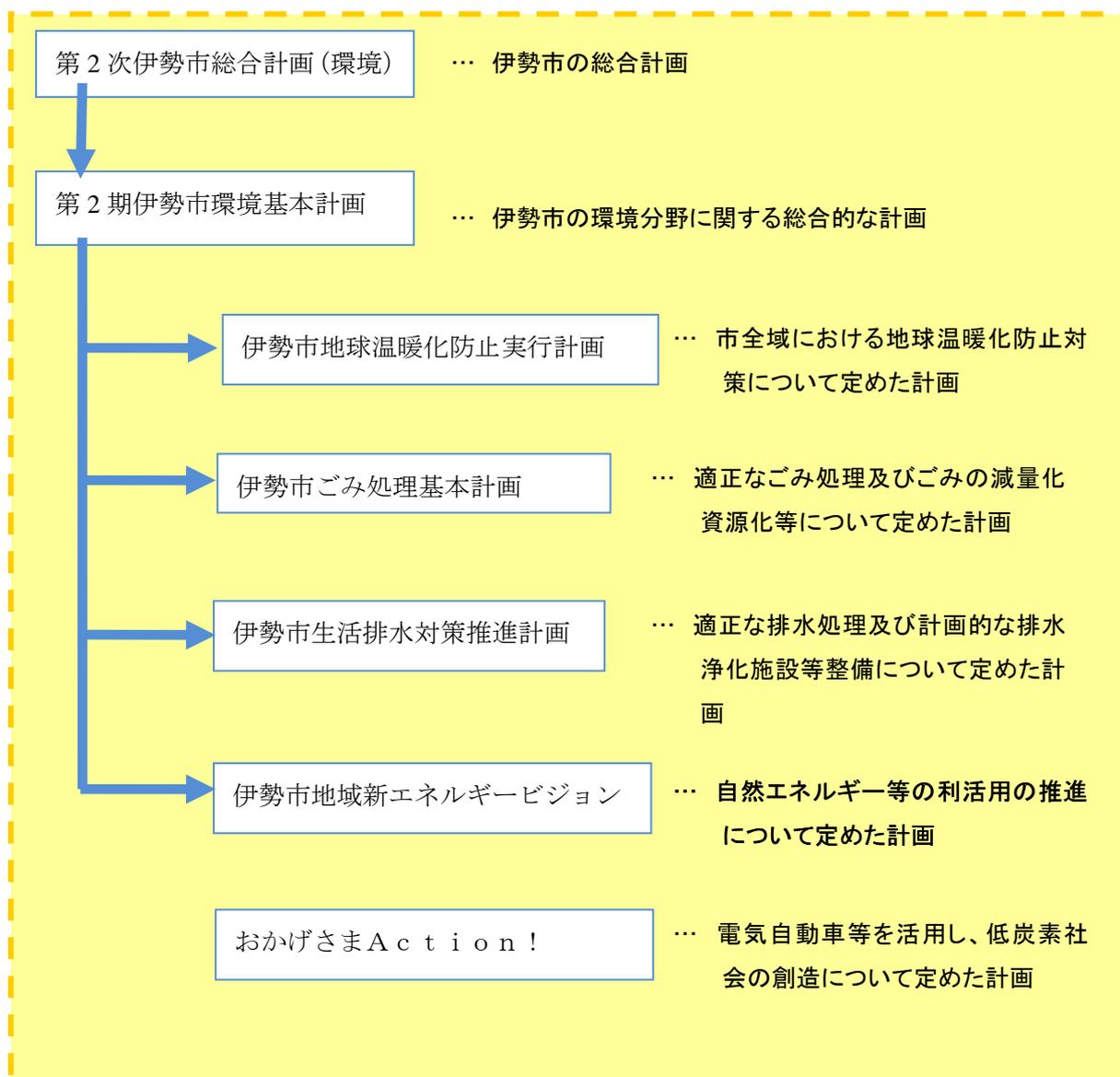
平成27年度 伊勢市環境報告書

もくじ

第2期伊勢市環境基本計画の位置づけ	1
平成26年度 施策の展開状況	2
基本目標1 地球環境に配慮し、資源やエネルギーを大切に する 循環型社会のまち	2
基本目標2 豊かな自然を守り、水と緑と人が共生する 魅力あるまち	6
基本目標3 歴史・文化の薫る、快適に暮らせるまち	9
基本目標4 協働でつくる、人と環境にやさしいまち	12

第2期伊勢市環境基本計画の位置づけ

伊勢市環境基本計画の環境分野における位置づけは以下のとおりです。



平成 26 年度 施策の展開状況

伊勢の環境の保全のために展開した主な施策・事業及びその実績について、紹介します。

基本目標 1. 地球環境に配慮し、資源やエネルギーを大切にする、

循環型社会のまち

(1) 低炭素社会づくりの推進

①再生可能エネルギーの導入促進

太陽エネルギーなどの再生可能エネルギーの導入を推進するとともに、ごみ処理等のエネルギーの有効利用を検討します。

●重点事業① 太陽光発電設備設置の推進 【環境課】

太陽光発電システムの普及促進のため、太陽光発電設備設置者に対し、1 件あたり 6 万円の設置補助金を交付しました。(補助件数 200 件)

【目標値】 太陽光発電設置件数

※中部電力(株)との太陽光発電の受給契約件数

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 31 年度目標
2,663 件	3,173 件	6,500 件

●てんぷら油の回収 【清掃課】

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象にてんぷら油を回収し、再利用を行いました。

②次世代自動車の普及促進

電気自動車等の次世代自動車の普及を進めます。

●重点事業② 「おかげさま Action!」に基づく、次世代自動車の利用促進

【環境課】

行動計画「おかげさま Action!」に基づき、次のとおり次世代自動車の利用促進を行いました。

＜観光企画＞

- ・小型EVの観光モニターツアー
計7回実施
- ・おかげさま Action!エコスタンプラリー
平成27年1月5日～2月28日の期間にて実施
- ・電気バス導入1周年記念スタンプラリー
平成27年3月21日～29日の期間にて実施

＜情報発信＞

- ・ニュースレターの作成
- ・電気自動車や電気バスで周る！！お伊勢さん周遊マップ！の作成

＜啓発活動＞

市内等で開催されるイベント等にて、電気自動車等の展示及び試乗会等を行い、電気自動車等の普及啓発を行いました。（計27回実施）

③省エネルギーの推進

省エネルギーな生活・事業活動への転換を行います。

●重点事業③ エコドライブの推進 【環境課】

燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの推進を図るため、JAF三重支部と連携し、市民・事業所向けと伊勢市職員向けに各2回エコドライブ講習会を行いました。

●交通体系の整備 【交通政策課】

現況の鉄道・バス路線網の最大限の活用とコミュニティバスの運行により、市全体における公共交通体系を構築し、公共交通機関の利用促進を図りました。

また、神宮周辺で頻繁に発生する交通渋滞のために交通誘導や情報発信、パーク&バスライドなどの交通対策を行いました。

●LED照明の設置

◀防犯灯設置の補助金▶ 【危機管理課】

夜間の犯罪防止のために設置している防犯灯を蛍光灯からLEDへ取替え、LED防犯灯の設置を推進していくため、補助金・助成金を自治会等に交付しました。

◀商店街街路灯等のLED化への補助金▶ 【商工労政課】

商店街が設置、維持管理する街路灯等をLED化するにあたり補助金を交付しました。

◀公園や道路照明等のLED照明の設置▶ 【基盤整備課、維持課】

公園や道路照明施設にLED照明や省エネタイプの照明の設置、LED電球への取替えを行い、省エネルギー化を図りました。

(2) 3Rの推進

①廃棄物の発生抑制 (Reduce)

廃棄物が発生しない生活・事業活動への転換を行います。

●重点事業④ 燃えるごみの減量 【清掃課】

燃えるごみの減量のため次のとおり取り組みを行いました。

◀ごみの資源化に関する出前講座▶

希望する団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方についての出前講座を行いました。

◀マイバッグ持参・レジ袋有料化の取り組み▶

地球温暖化防止と循環型社会構築を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、マイバッグ持参運動を推進するためにレジ袋有料化の取り組みを行いました。

◀ごみ減量化容器設置補助金事業▶

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対して補助金を交付しました。(補助件数 82 件)

【目標値】 燃えるごみの量

※家庭系ごみと事業系ごみの燃えるごみ排出量

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 31 年度目標
42,828 トン/年	43,683 トン/年	34,000 トン/年

②廃棄物の再使用（Reuse）・再生利用（Recycle）の推進

再使用・再生利用のしくみづくりを行い、焼却・埋立ごみの減量を図ります。

●再生資源回収の奨励金 【清掃課】

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付しました。（交付件数 155 団体）

③廃棄物の適正処理

自然環境・生活環境に影響がかけられないような適正な処理を行います。

●ごみ搬入検査 【清掃課】

事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行いました。

●不法投棄の防止対策 【清掃課】

不法投棄防止に対する啓発看板の作成及び配布とともに、市内 4 か所に設置した監視カメラ（移動式）で不法投棄の未然防止に努めました。

●廃棄物減量等推進員 【清掃課】

市と市民をつなぐパイプ役として、廃棄物減量等推進員を委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼しました。

基本目標2. 豊かな自然を守り、

水と緑と人が共生する魅力あるまち

(1) 自然環境の保全

① 生物多様性の保全

動植物の生息・生育環境を保全し、生物多様性の保全に努めます。

●重点事業⑤ 動植物の生息・生育状況の把握 【環境課】

外来生物による被害予防に関する情報提供や啓発を広報やホームページにより行い、企業が実施する生物多様性活動や水生生物による水質調査により、身近な動植物の生息・生育状況等の環境調査を行いました。

また、生物多様性に関する職員の人材育成のために研修参加等の調整を行いました。

●環境保全型護岸ブロックによる植生の復元 【基盤整備課】

台風等の災害により被災した河川の復旧に環境保全型の護岸ブロックを使用し、植生の早期復元を図りました。

② 水環境の保全

水質汚濁の防止・改善、および良好な生活環境の確保のため、生活排水対策を推進します。

●重点事業⑥ 公共下水道・合併処理浄化槽の整備促進

≪公共下水道の整備促進≫ 【上下水道総務課】

下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図りました。
平成26年度末における処理区域面積は1,580.9ha、処理区域内人口は、62,068人となり、普及率は47.6%となりました。

≪合併処理浄化槽の整備促進≫ 【環境課】

生活排水対策を目的として合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付しました。(補助件数251件)

【目標値】 汚水処理人口

※下水道の処理区域内人口と下水道区域外の合併処理浄化槽設置人口

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 31 年度目標
74,254 人	77,006 人	83,000 人

●水質調査 【環境課、企画調整課】

伊勢市の公共用水域（河川・海域）における水質の現状値を分析して生活排水対策の資料としました。

また、伊勢市も加入する宮川流域ルネッサンス協議会にて宮川本流、支流等 23 か所において水質チェックを行いました。

●河川維持 【維持課】

河川の通水を妨げる雑草等の除去、護岸等の補修を行い、適正な維持管理に努めました。

③自然とのふれあいの増進

自然を満喫し、また、自然環境保全の意識を醸成するため、自然とふれあう機会や環境の整備を行います。

●伊勢市環境会議の取組 【環境課】

《勢田川七夕大そうじ》

「勢田川を天の川に」との願いを込め、勢田川沿岸の清掃を行いました。

《水生生物による水質調査》

自然とふれあえる野外環境学習として水生生物による水質調査を小学生を対象として行いました。

●宮川流域ルネッサンス協議会の取組 【企画調整課】

宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐために小学生等を対象とした自然体験活動等を行いました。

(2) 公益的機能の保全

① 森林環境の保全

森林の有する公益的機能（水源のかん養、自然災害の防止等）を発揮できるよう、適切な森林管理を推進します。

● 間伐による森林の適正管理 【農林水産課】

三郷山及び横輪環境保全林において、間伐による適正管理を行いました。

② 農地環境の保全

農地の有する公益的機能（自然災害の防止、景観形成等）を発揮できるよう、農地の保全を図ります。

● 重点事業⑦ 農村地域の共同活動の強化 【農林水産課】

農業・農村地域における草刈りや泥上げ等の共同活動や景観形成作物の植栽等の農村環境活動等に対し、活動を行っている地域で設立した活動組織に支援を行いました。また、将来にわたり農地を集積し、それらを耕作する中心となる経営体を決定するプランを地域住民とともに作成しました。

【目標値】 多面的機能支払活動組織数

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 31 年度目標
21	25	33

③ 沿岸海域環境の保全

沿岸海域の有する公益的機能（水循環、沿岸景観形成、海洋文化醸成）を発揮できるよう、沿岸海域環境の保全を図ります。

● 干潟の環境改善 【農林水産課】

地区漁業者が中心となる活動組織とともに干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図りました。

● 二見浦海岸清掃 【観光振興課】

日本第一号の公設海水浴場として始まった二見浦海水浴場の運営にあたり、海水浴場の開設前に二見旅館組合等の観光関係団体や小中学校、地域住民、企業のボランティアの協力により海岸清掃を行いました。

基本目標3. 歴史・文化の薫る、快適に暮らせるまち

(1) 都市・快適環境の向上

①住環境の向上

騒音・振動、悪臭等の公害や、近年増加している空き家などが適正に管理され、安心安全で快適な住環境の実現を目指します。

●重点事業⑧ 空き家対策の推進 【都市計画課（H27～建築住宅課）】

自治会による空き家情報を元に、関係各課で危険性の高いと思われる空家の調査を実施し、危険度の高い空き家の所有者等へ適正な管理を依頼しました。

●騒音、振動・悪臭等の調査事業 【環境課】

騒音及び振動の現状を把握し、環境の保全を図るため、環境騒音・道路交通振動の測定を行いました。また、特定地点における悪臭の現状を把握し、公害防止を図るため臭気測定を行いました。

②バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

バリアフリー、ユニバーサルデザインを推進し、誰もが快適に生活できるまちの実現を目指します。

●バリアフリー観光の向上 【観光振興課】

NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター等とともに、伊勢神宮内宮の車椅子参拝を継続してサポートできるしくみづくりを検討しました。

③美しく潤いのある空間づくり

生活者も来訪者も快適に過ごせる地域の環境美化、衛生環境の向上に努めます。

●公園・街路等の維持管理 【維持課】

良好な都市環境を提供するため公園等の修繕、清掃、除草、剪定、消毒等を行いました。

●きれいなまちづくりの推進 【清掃課】

5月30日の「ごみゼロの日」にちなんで市民一人ひとりがごみ問題に対する意識を高め、ごみゼロ活動を実践するきっかけとするために伊勢市駅前でごみゼロ早朝清掃を実施しました。また、広報いせや出前講座、看板の設置にて空き缶やたばこのポイ捨て防止の啓発を行いました。

●ペット飼い方啓発 【環境課】

狂犬病予防の集合注射案内時や動物愛護週間時の広報いせを活用し、ペットの飼い方のマナーについて啓発を行いました。

●犬猫不妊手術の助成金 【環境課】

犬や猫の適正飼育を図るため、不妊手術費の助成金を飼い主に交付しました。
(助成件数 670 件)

(2) 歴史的・文化的環境の保全

①伊勢の環境文化の保全

伊勢のまちで醸成された環境文化を保全・発信します。

●電気自動車等を活用した取組の情報発信 【環境課】

三重県のモデル事業として、平成24年度から取り組んでいる電気自動車等を活用した取組を市内外のイベントやHP等を通じて、情報発信を行いました。

②良好な景観の形成

伊勢の歴史や文化を感じることができる景観の形成を推進します。

●景観形成の推進 【都市計画課】

内宮おはらい町地区と二見町茶屋地区における建築物または工作物の建設等で、伊勢市景観計画に定める重点地区景観形成基準に適合した事業に補助金を交付しました。(補助件数 1 件)

③伊勢の環境文化を伝えるおもてなし

伊勢市を訪れた人が、伊勢市の環境に配慮したライフスタイルを地元を持ち帰り、実践してもらえるようなおもてなしを推進します。

●寄せ植えコンテスト 【観光振興課】

三重県種苗協会との共催により、第7回美し国三重「寄せ植え」コンテストを開催しました。

●花のまちづくりの推進 【維持課】

公共用地に花壇等を設置し、市民へ花の苗等を提供して四季折々の植栽を行ってもらうことにより、花に対する関心を高め、市民参加の「花のまちづくり」の推進を図りました。

基本目標4. 協働でつくる、人と環境にやさしいまち

(1) 環境教育・環境学習の充実

①ESDに基づく環境教育・学習の充実

ESDの視点に基づき、学校や地域・社会での環境教育・環境学習の充実を図ります。

●重点事業⑨ 環境教育の推進 【学校教育課】

各小中学校にて、次のとおり環境教育・環境学習の充実を図りました。

≪学校環境デーの取り組み≫

学校環境デー（6月5日）に併せて、環境教育や環境保全、環境集会等の取り組みを行いました。

≪省エネルギー、リサイクルの取り組み≫

節電や節水の推奨、グリーンカーテンの設置等を実施しました。また、アルミ缶回収等のリサイクル活動を行いました。

≪清掃活動や自然保護活動≫

地域ごとの浜清掃、河川清掃を実施しました。また、ヒヌマイトトンボの学習と生息地の保護活動や松林保全のための植樹活動・河川の水質調査活動等を行いました。

●エネルギー教育の推進 【環境課】

エネルギー環境についての正しい知識と認識を深め、行動する人材を育成するため、各小中学校上限2万円の支援を行い、エネルギー教育に関する授業・活動の促進を図りました。

●ポスターコンクールや出前講座 【清掃課】

3Rの推進及び不法投棄防止を目的として、市内小中学校を対象に伊勢市環境会議とともにごみゼロポスターコンクールを実施しました。また、社会学習としてごみの分別・3Rの推進の説明やパッカー車による収集の体験等を行う出前講座を行いました。

②環境教育等を推進する体制づくり

地域や学校、職場等で環境教育・環境学習を総合的・体系的に推進する体制づくりを行います。

●民間や大学、団体と連携した出前講座 【環境課】

環境教育に関する協定を締結した民間事業者や包括連携協定を締結している皇學館大学、伊勢市の環境に関する市民団体である伊勢市環境会議による出前講座を次のとおり行いました。

〈京セラ株式会社 三重伊勢工場〉

太陽電池を題材とした環境やクリーンエネルギーについて学習する出前講座を市内 11 校の小学校にて行いました。

〈中部電力株式会社〉

発電のしくみを通して、エネルギー資源について学習する出前講座を市内 2 校の小学校にて行いました。

〈皇學館大学 生物学ゼミ〉

実際の昆虫を活用し、昆虫や自然の事象について学習する出前講座を市内 6 校の小学校にて行いました。

〈伊勢市環境会議〉

環境意識の啓発のための環境出前講座を市内 1 校の中学校、2 校の小学校、5 園の保育所・幼稚園にて行いました。

(2) 環境保全活動の推進

①市民・団体による環境保全活動の推進

市民一人ひとりが環境に配慮した暮らしを実践し、また、地域やグループにより環境活動の推進を図ります。

●キッズISO14000プログラムの取り組みに向けて 【環境課】

小学校にて児童一人ひとりとその家族が、環境に配慮した暮らしを实践する環境活動の推進を図るため、キッズISOプログラムの実施に向け、第三銀行株式会社と「環境教育に関する協定」を締結しました。

②事業者による環境保全活動の推進

事業活動における環境負荷の低減や、地域活動等への協力を推進します。

●市内事業者向けの環境マネジメントシステムのセミナー 【商工労政課】

三重県より受託し開催した南勢地域製造管理者育成基礎講座において、環境管理に関する講座を行いました。

●企業の地域活動への協力の推進 【環境課】

企業が実施する生物多様性活動や清掃活動に参加・協力し地域活動等への協力を推進しました。

③市民、事業者、行政の連携・協働

市民、事業者、市が情報共有し、意思疎通を図り、相互理解のもと協働で活動展開できるようネットワークの形成を図ります。

●伊勢市環境会議の取り組み 【環境課、清掃課】

自然環境や生活環境等について、各主体が知恵を提供し合い、伊勢市の環境保全・向上を目指し取り組みを行いました。

●環境フェアの開催 【環境課】

市内の環境団体・事業者等により、環境取り組みの紹介や啓発活動を行う環境フェアについて、平成 26 年度は、台風のため中止しました。

●キャンドルナイト伊勢の開催 【環境課】

100 万人のキャンドルナイト伊勢実行部隊において、親水機会の提供や、河川浄化啓発等のためキャンドルナイト伊勢を開催し、勢田川沿岸にキャンドル（約 1 万個）を灯しました。

(3) 環境情報の受発信の強化

① 環境情報の収集・分析

伊勢市の環境に関する情報やデータを収集・把握するとともに、現況や今後の展望についての分析を行います。

● 商工会議所と連携した情報の共有 【環境課】

伊勢商工会議所と連携し、低炭素社会・循環型社会の実現に向けた活動の情報共有や新エネルギーに関する先進地の視察等を行いました。

② 環境情報の発信・活用

市民や事業者が理解、利用しやすいよう、環境情報を発信するとともに、活用方法を検討します。

● 環境情報の情報発信 【環境課】

伊勢市HPや広報いせの活用、市内で開催されるイベント等にて環境啓発や情報発信等を行いました。